

大阪府議会議長

「大阪府介護・福祉人材確保戦略」に係る予算措置を求める請願書

趣旨（要旨）

大阪府内では、介護人材不足が深刻化しています。大阪労働局の調査では、介護サービス職種の有効求人倍率は 5.2 倍で、1 人の求職者を 5 つの事業者が取り合う状況です。府内全業種の 1.68 倍と比べてもその深刻さは明らかです（2018.11 調査）。

今後、75 歳以上の高齢者が急増し、単身(夫婦のみ)高齢者や認知症高齢者の増加等により介護需要がますます増大し、生産年齢人口の減少に伴う労働力不足も見込まれる中、より多くの介護人材の確保が必要とされています。2025 年には、介護サービス従事者は 3.4 万人不足する見込みとされます。

そのため、大阪府は、2017 年 11 月に「大阪府介護・福祉人材確保戦略」策定し、介護職員の処遇改善、介護のイメージアップ、介護研修への補助、介護従事者の負担軽減による離職防止等の具体策を示しました。大阪府高齢者計画 2018 でも、同戦略の着実な実施を図ることにより、介護人材を確保するとしています。

しかし、公表された「平成 31 年度当初予算案」では、介護人材の確保に係る予算が大幅にカットされ、2018 年度予算よりも減額されてしまっています。これでは 2025 年の介護需要には到底対応できません。十分な予算措置を求めます。

（参考）地域医療介護総合確保基金事業費（地域福祉事業・高齢者福祉事業費計）

2018 年度予算	約 3 億 4 6 9 4 万円	←今年度の金額
2019 年度担当部局要求額	約 3 億 4 7 4 0 万円	←来年度の必要額（査定前）
2019 年度予算案	約 2 億 6 8 7 9 万円	←査定で約 8 千万円減額

請願事項（項目）

1. 介護人材の確保戦略を確実に実施するため、十分な予算措置をおこなうこと。

請願者 住所 大阪市淀川区十三東 1 丁目 1 7-1 3 水交ビル, 1F

氏名 大石あきこ

お名前	ご住所

2019年1月26日

介護事業者・職員、府民の皆様

大阪府がまさかの介護の予算カット？
ともに府議会に声を届けてくださいませんか。

「介護の人手不足」対策を求める請願署名にご協力をお願いします。

今、介護の人手不足が深刻化し、2025年には、大阪府内で、介護サービス従事者の人手不足は3万4千人に達する見込みとされています。

この事態を乗り切るためには、例えば、初任者・実務者研修の受講人数の大幅な増加等にむけた実効性のある策をねること、そのための大幅な予算の増加に、大阪府が覚悟をもってかじを切らなければなりません。今こそ決断のときです。

しかし、大阪府の2019年度予算案（2019年1月4日時点）では、これら人材確保に係る予算が、増加どころか、2018年度と比べて大幅にカットされています。このような府のありかたでは介護制度は破たんしてしまいます。

まずは、最低でも、2018年度並みに2019年度予算を回復させなければなりません。

そこで、2月下旬に開会される大阪府議会に対して、別紙『「大阪府介護・福祉人材確保戦略」に係る予算措置を求める請願』を行います。

介護事業者・職員の皆様にも、ご賛同をいただき、別紙の請願署名にご記名いただければ、ありがたいです。なにとぞご協力をお願いいたします。

署名の締め切り：2019年2月22日（金）必着

※請願には「紹介議員」が必要で、現在各党派と調整中です。

（署名について）

- ・鉛筆不可。ボールペンなどをお願いします。
- ・「同上」や「〃」等の省略は不可。
- ・署名は、原本を郵送でお送りください（コピーやファックスは無効）。
- ・個人情報、適切に管理するとともに、本件以外の目的では使用いたしません。
- ・インターネット等での公表はされません。くわしくは大石あきこウェブサイトをご覧ください。（「大石あきこ」で検索 <https://www.oishiakiko.net/>）

【請願署名取りまとめ】

音くらしデザイン研究所 代表 大石あきこ

〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目17-13 水交ビル 1F

携帯：070-2289-0109 E-mail: oishiakiko2018@gmail.com